

稲 WCS 専用極短穂中生品種「つきあやか」の栽培実証

要約

寒冷地域における中生の稲 WCS 専用品種「つきあやか」の直播による栽培実証を行った。移植に比べて単収は低かったものの、一定の収量が得られ、サイレージの発酵品質も良好であったことから、「つきあやか」は冬作牧草との二毛作作付け体型において、WCS 用稲の栽培期間を6月～9月とした場合に適する中生品種であることが確認できた。

○ 展示のねらい

那須地域では WCS 用稲と冬作牧草の二毛作が盛んであり、二毛作体系に適する中生の専用品種が求められている。そこで、寒冷地域における稲 WCS 専用中生品種「つきあやか」の地域適性および鉄コーティング直播による栽培方法を検討することで、省力的栽培により WCS 用稲の作付面積拡大に繋げることを目的として栽培実証を行った。

	品種	栽植様式	播種量
試験区	つきあやか	直播	5kg/10a
対照区	つきあやか	移植	3kg/10a

○ 主な成果

- ・ 6月16日に直播、6月20日に移植、9月30日に収量調査を行った。出穂は、直播が9月12日、移植が9月3日であった。
- ・ 乾物収量は、直播が839kg/10a、移植が1,371/10a、穂重割合は、直播が4.2%、移植が9.1%であった。
- ・ 寒冷地域において「つきあやか」は高収量を確保できること、収穫適期が9月後半であるため、地域の二毛作による粗飼料生産体系に適することが確認できた。

表1 生育調査結果

	直播日 移植日	播種量 (kg/10a)	出穂日	収穫日	草丈 稈長	茎数 (本/株)
直播	6月16日	5	9月12日	9月30日	116 83	16.2
移植	6月20日	3	9月3日	9月30日	127 96	19.7

表2 収量調査結果

	生全重	生茎葉重	生穂重	乾物全重	乾物茎葉重	乾物穂重	穂重割合
	(kg/10a)						(%)
直播	1,889	1,836	53	839	803	35	4.2
移植	3,010	2,841	169	1,371	1,246	125	9.1

○ 今後の方向性

那須地域における WCS 用稲とイタリアンライグラスとの二毛作では、「つきあやか」の作付を推進、農家の栽培状況に応じて直播技術を含めた栽培技術指導を行う。

実施機関： 那須農業振興事務所経営普及部 実施場所： 那須町
 問合せ先： 栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315